



十年
後
の
人
生
相
談

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止


OREIMO FAN BOOK



こんにちは。松果です。
この再録には2014、2015年に中国語版の俺妹の既刊3冊を収録したものです。
最後の完結編を加えて、合計4冊の収録となります。
既刊を加筆・修正し、総集編と言ってもいいでしょう。
中身は一切日本語で公開したことがなく、皆さんがどうぞ新鮮な気持ちで読んで頂き、
お気に召していただければ幸いです。

十年後の人生相談

高校時代、最後のクリスマスライブに
俺は桐乃に告白した



不器用ながらも
全身全霊を持って


俺の本心を叫んだ



卒業までの期間限定だが
俺は桐乃と、恋人になると約束した

そして初めて
一線を超えてしまった

その後…身を持って
この行為の代償を味わった



ブチギレたオヤジは
まるで天災のように
誰にも止める事は出来なかった

目が覚めたのは5日後
病院のベッドの上でだった

それ以来
いくらあいつの親友たちに
尋ね回っても、あいつは
見つからなかった
行方不明だ

会えない十年の間
あの時のあいつの横顔だけは
夢に何度も出てきた

桐乃は親子喧嘩の末
腹を立てたまま家を出た

その際にチラッと
こつちを見たのが
俺が見た最後の記憶
だった

…きょう

きょうちゃん…

きょうちゃん！

起きようよ！

麻奈実か…

もう、
お休みだからって
寝過ぎだよ

コーヒー
温め直す？

なんとなく大学を卒業した俺は
適当な仕事を見つけて

当たり前のように
幼馴染と家庭を築いた

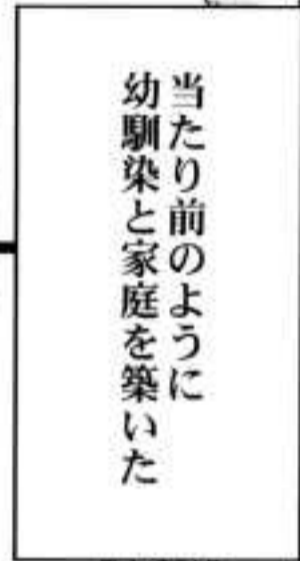
ママレードが良い？

うん

きゅんちゃん

んー？

ももも





えへへ♡

口元にっくしてあげ
ちゆ



うん？



きょうちゃん!?



んふう…

ま、待って
せめて朝ご飯が終わっ
…あん♡

はああー
…せめて部屋で…





来週は一度実家に帰る
桐乃も戻ってくる
お袋がね

一緒に行くか？

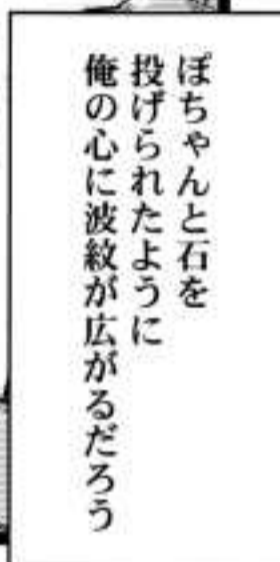


あの…

ただ、桐乃が帰って
くると聞いたら



麻奈実のことは
愛していると思う



ぼちやんと石を
投げられたように
俺の心に波紋が広がるだろう



彼女に好かれてないんだし

二人とも、
十年ぶりの再会だし
私の顔なんて見たくも
ないと思うよ

ううん、やめとくよ



んっと…

桐乃ちゃんか…



…わかった

正直に言う
と
ホッと
した

一週間後
俺は実家に戻った

ただいまー

あら、京介が先なのね

何で桐乃じゃ
ないのかしら

明らかに
ガツカリしないでよ
お袋

実家に帰るのが
年に何度もない息子だぞ

そう遠くもないんだし
もつと頻繁に
顔を出しなさいよ

すまん……

部屋は片付けといたから
そこに泊まりなさい
もうすぐご飯だから
あとで降りて頂戴

そういえば、
麻奈実ちゃんは？

仕事だそうだが
次の休暇は一緒に
帰ってくるよ

京介
RYOU SUKE



部屋は全く変わってない
たぶん桐乃の部屋も同じだ

兄妹揃って家から出た後、
お袋は俺たちの部屋をずっと
そのまま維持し続けたようだ



着替えるか

オヤジといえは
桐乃が家出した日から
娘の名前を口にした
ことは一度もない

代わりに毎日酒を口にし
泥酔するまで飲み続けた
ようだ



死ぬまで何も
言わなかったけど
オヤジはそれなりに
後悔していたと思う

もしかしたら
桐乃の帰りを
一番望んでいたのは
オヤジかもしれない

しかし、
桐乃が戻ってきた時

俺はどんな顔で
あいつと向き合えば
良いんだろう？



兄貴として？
それとも…

玄関からの音…

来たか？





桐乃

久しぶりに
顔を見せたと
思ったらいきなり
ビッグニュースだ
おい？

にやはは、

そろそろいい年だし
貰い手を見つけ
とかないと、ね

なんだってー

んでお前の夫はー

って無視かよ？！

イエーイ！
部屋変わってないんじゃん！
母さん、ありがとーっ！

ったく、
お前の荷物

兄貴

ここに置いて
とくからな

麻奈実さんと
結婚したって？

よかったじゃない

よかった
…のか？

それを聞いた時
何故か形容しがたい
感情が生まれた

こいつの
言うとおりだ

ああ

ありがとよ

お互い、
家庭を持った今が
普通の状態なんだ

桐乃はただの妹
俺達の関係は
最初に戻っただけさ

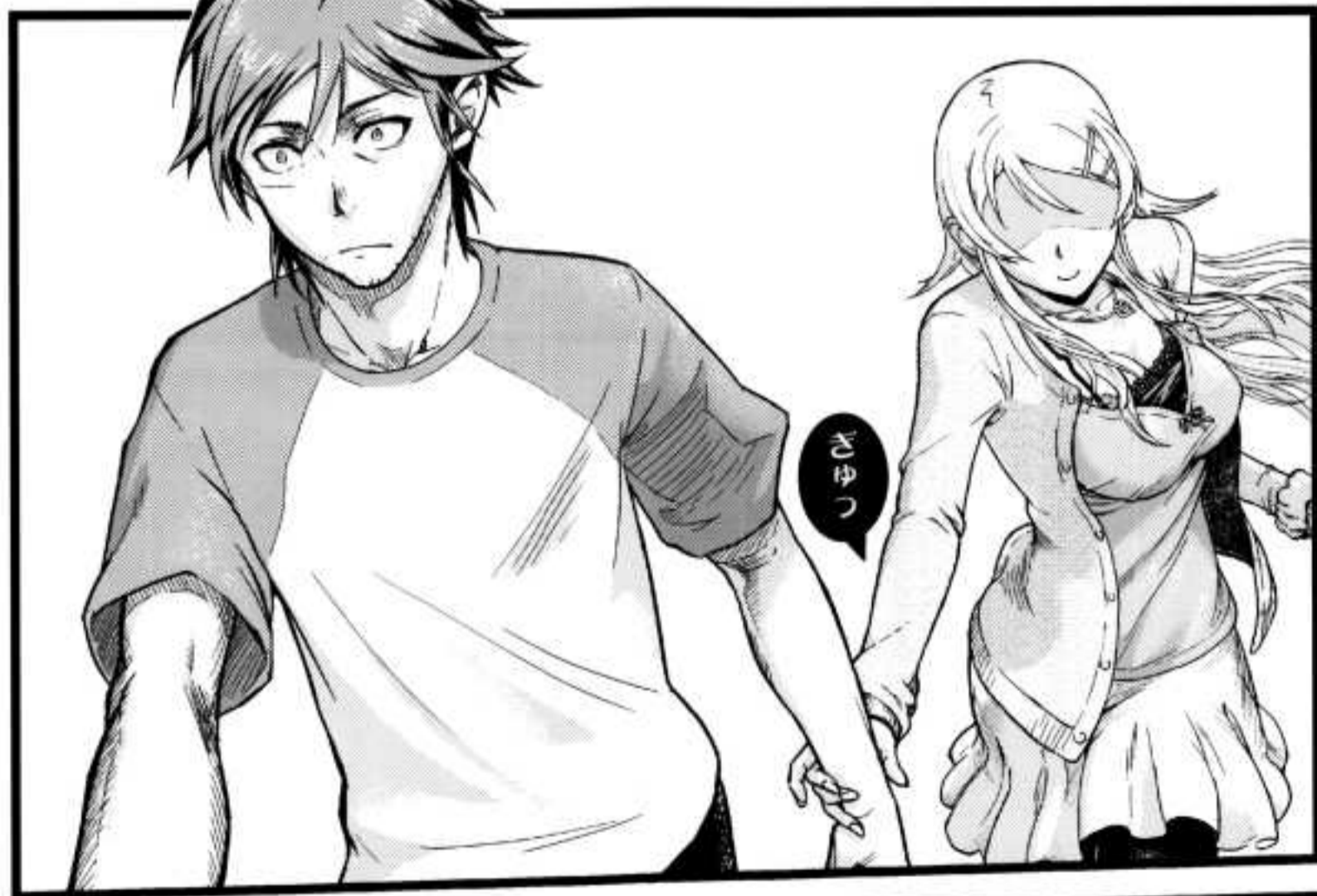


初めから期待すべき
ことなんてなかった…



バカらしい

んじや
部屋に戻るよ
飯が出来たら
呼びに来る



ごめん



桐乃？

何ぞ…





体から伝わる
微かな甘い匂いと
ほつりと吐き出す言葉



ああー！
変わってねえな…

俺の妹は…



ねえ
舌、出して？



昔抱いたこの体が—

今、どうなってるのか

知りたくないの？



いつも俺の理性を
容易く奪い去る







ああー

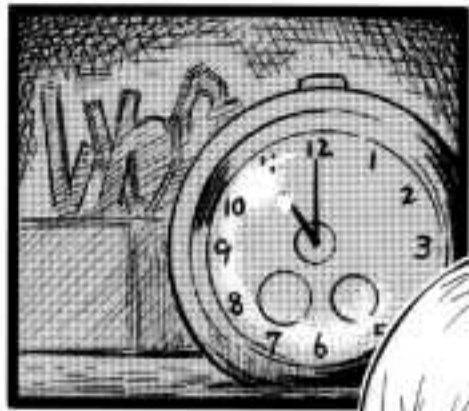


ビュルルルル









母ちゃんはもう寝た？

うん



じゃ始めようか
バカ兄貴…



十年ぶりの

人生相談だね



ここが疼いて疼いて
堪らなくてね

あたしね

家に帰ってからずっと



俺の上に覆いかぶさってきて
柔らかい体をイヤらしく動かす

粘っこい音を立てて
愛液が俺の太股へと
滴り落ちる

はあ…

ふん…
ぐん…
ちゅ…

桐乃に攻められて俺は
為す術もなく

ただ息子が大きく
なっていく

じゅる



先っぽとキス
しちやったよ
それから—

—
気

桐乃ちよっと…
まだゴムが…

うふ—

んふ—

バカ兄貴のおちんちん

ああ…



グリグリ…
掻き回して…

超気持ちいい

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

慣れない粘着感と共に
蕩けてしまいそうな熱が
下半身から伝わってくる

一番奥に当たってる♡♡♡
♡♡♡



意識飛んじやう

あ

これ…
もうダメえ

あ



兄貴の…
ペ…ペニス…

超やばいこれ

奥の奥まで…
掻き回されてる

ああ

はあ

あう

やあ

じゅわん

じゅるる



ふあはあ

快樂に身を
任せるように
妹は妖しげな動きで
腰を回す

俺も快感に
震えて動き始める

ビュル

キ…桐乃、
俺は…もう

早く…
抜いて…

ふはあ…
だ…だめ

あん…あと少し

かはあ

イク

ジュン
ジュン
ジュン

ズン
ズン
ズン

はあ

全…
全…
全部…

腔内…

ねちゅ
ねちゅ

ああ

奥の奥が熱い…

じゅ
じゅ

今日は危険日なのに

兄貴のザーメンで…
妊娠しちゃうかもしれないよ

ハア
ハア

ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

でも、大丈夫

あたしの中でいっぱい
出しても構わないの

家に戻ったら
また夫とセックス
して中出しさせる

これで例え兄貴の子だとしても
時間的に問題ないよね

何って…

十年前にやった
はずのことだよ？

もしあの時ここまでやったら
離れないで済んだかもしれぬし

それに、もう父さんも居ない
良いチャンスだと思わない？

ドス黒い感情が
胸に渦巻き…

そのつもりで
帰ってきたん
だから…

桐乃…

何を言って…

…十年の間
あたし、どんな気持ちで
過ごしてきたと思う？

家と絶縁した女に
あんまり選択はないよ

ぎゅっ

どんなに辛くても
兄貴と一緒になら…

いくらでも
耐え切れる…

…けれど

ぎゅっ…



どうして

あの時一緒に行って
くれなかったのよ？



俺は…

何も言い返せ
なかった





嘘だよ



兄貴の
子供が
欲しいとか
全部ウソ

事前に薬を
飲んでおいた

...



仮にも
付き合った
十数年
お前なりの
ストレス発散
なんたら



…あまり驚か
ないよね？

…かもな



…「ジツムシ」め

ずっと知ってたよ
十年前、一緒に行って
くれなかった理由

誰かが残って
全てを受け止めないと
いけなかったから

顔に付いてたその傷跡は
そうなのよね？

だから兄貴は
あたしを守ってくれた
昔のように

ねえー
用意できたら
駅まで送るよー

はい！

そこまで大したこと
じゃないけどよ

…褒めてないから

自意識過剰じゃないの？

…っていうか
他に方法なかったの？

花畑すら見えたぞ
あんときは…

ふーん

あと、やっぱり
地味子がムカつく
結婚なんて
泥棒猫に取られた
気分よ

そうだ、兄貴

お前な…

ん？



まだまだ続くよ

人生相談☆

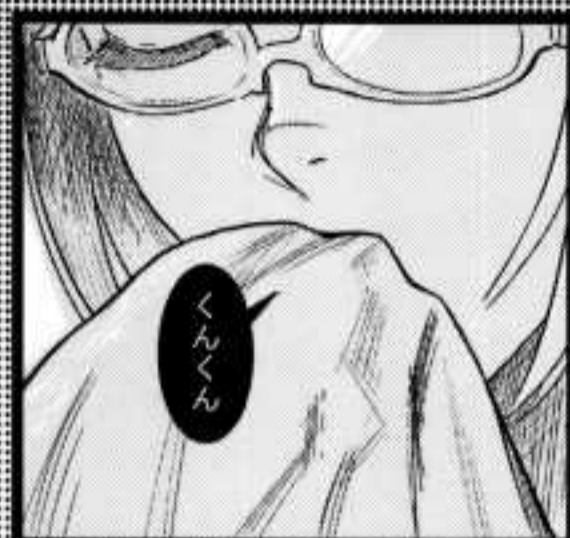
う...

は？



おかえり

お母さんと
桐乃ちゃんは
元気だった？



え？





アハハハ

あの時一緒に行って
くれなかつたのよ？



あ...



一緒にいると
信じてたのに

スッー!

うぐ…
う…

やだ…
こんな姿

兄貴に見せ
たくないのに

うぐ…
う…

だつてきつと

ぽん!

兄貴は昔のように

頭を撫でてくれて



大丈夫、と
言ってくれるから



すまん





昔のようだ



あたしに優しく触れる



あたしを優しく抱いて





あ
た
し
を
優
し
く
満
た
し
て
く
れ
る



余計なことを
考えなくても大丈夫

兄貴に身も心も
委ねれば

優しさに
包まれたまま

幸せの向こうへ行ける

兄貴…



京介…



あたしは…



自分にウソをつきたくない



だから人生相談はまだ
終わらせたくない



まもなく
発車します



初めて今の夫と
知り合ったきっかけは
ほとんど覚えていない



ドアが閉まります



覚えているのはあの
一生懸命な告白
誰にも憚ることなく
大胆な告白

中学時代最後の
クリスマスライブを
思い出させる
似たような光景

あたしは彼に
一瞬動揺してしまい
交際を認めてしまった

彼はとっても普通な人
人混みに紛れたら
気づかないタイプだ

普通そうに見えるけど
人の事になると
無駄に真剣になる

ちよつとお世話焼きで
お人好しで
突っ込むことが好きな人



まるで京介のように…

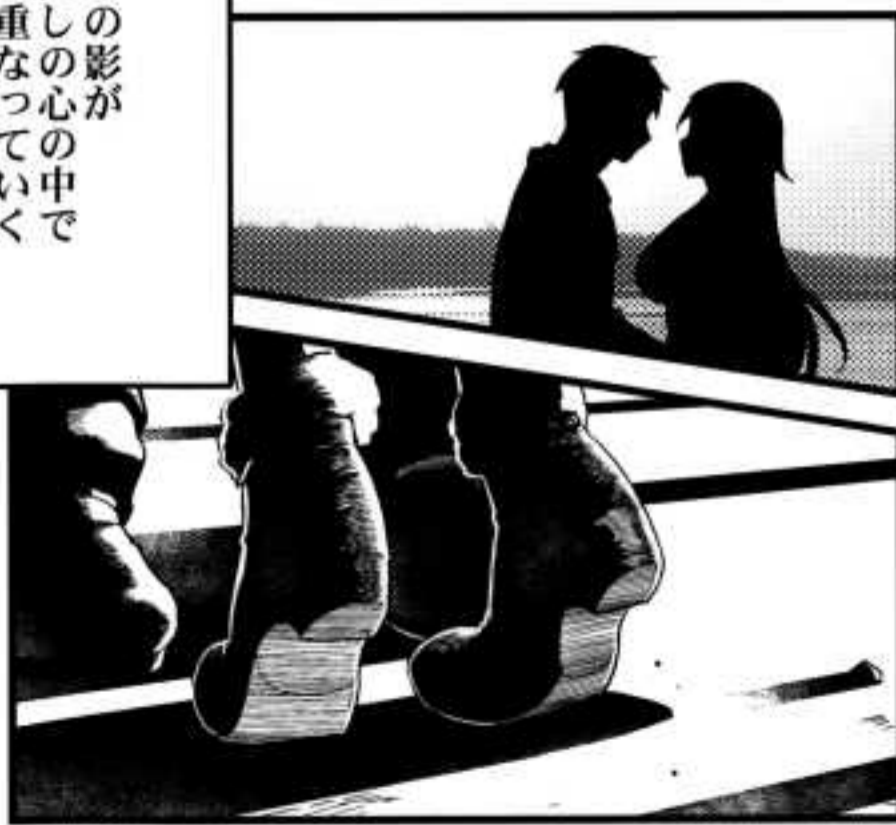
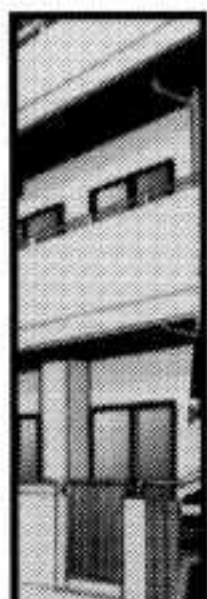
そう…



二つの影が
あたしの心の中で
段々重なっていく



ん…
ちゅる



あの時は
性欲に溺れただけ

あー

あー
あー
あー

いい♡

あー

パンパン

あー

あー

うー

あー

あー
あー
あー

あー

ぐちゅ♡

気持ちいい♡

あん

ふい♡



それでも彼は
泣いているあたしを
慰めてくれた

その名前を呼んだことで
まだ前の男を忘れ
きれていないと
思われているらしい

兄貴の名前は
知らせてなかった



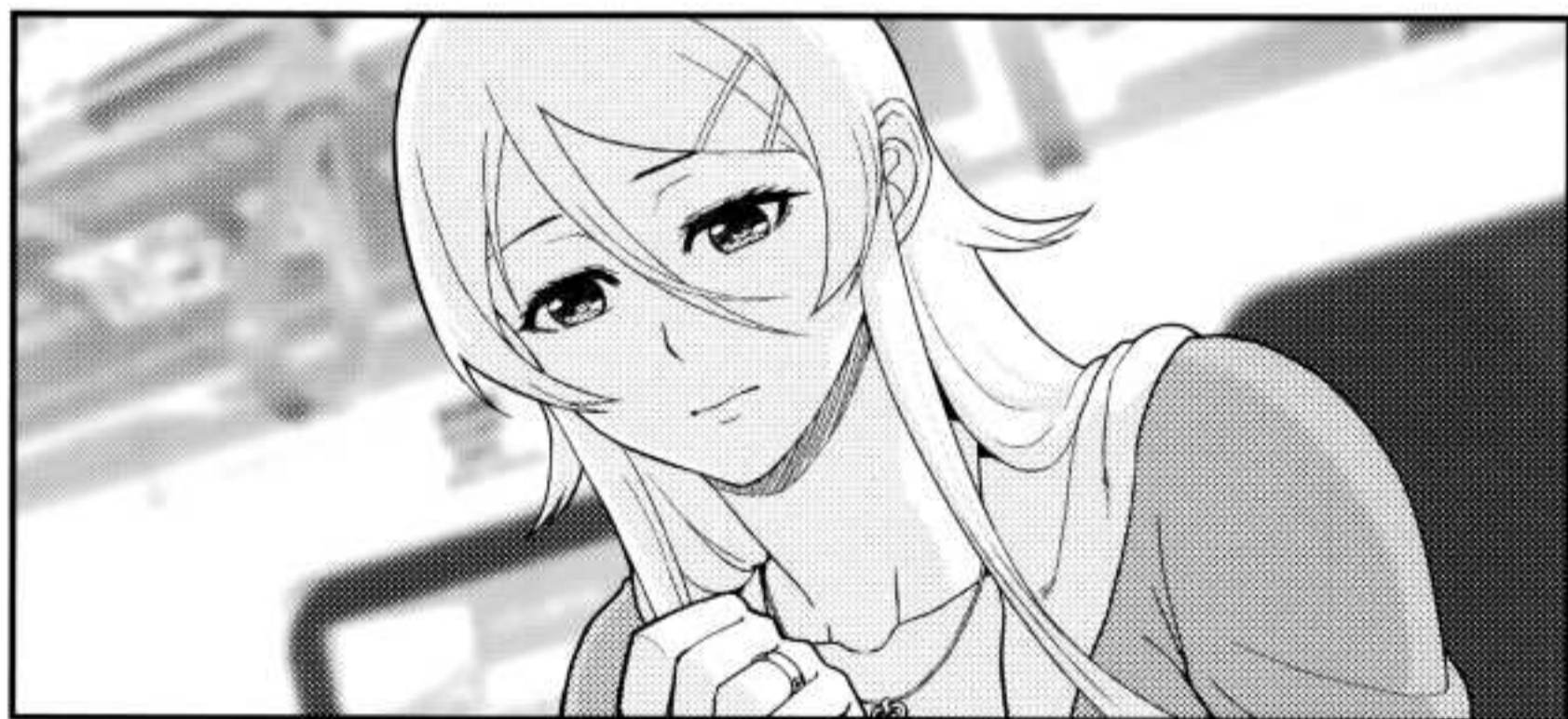
でも泣いた原因は
自分だけが知っている



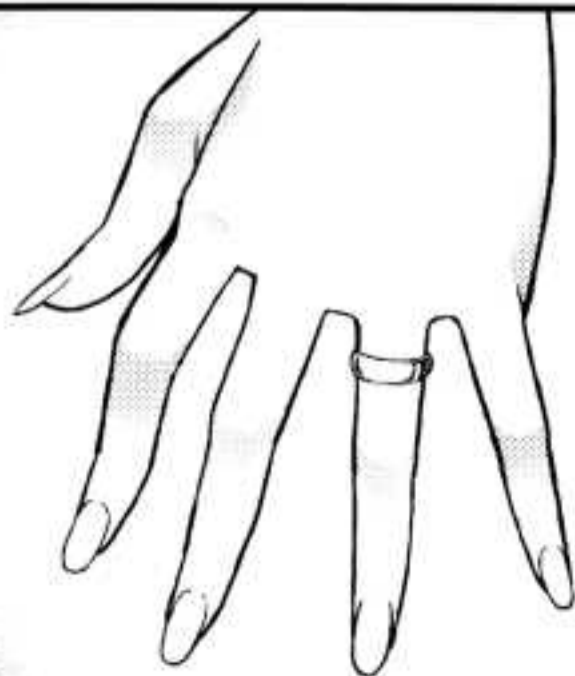
一生をともにする
つもりだった彼は



兄貴の代わりでしかない



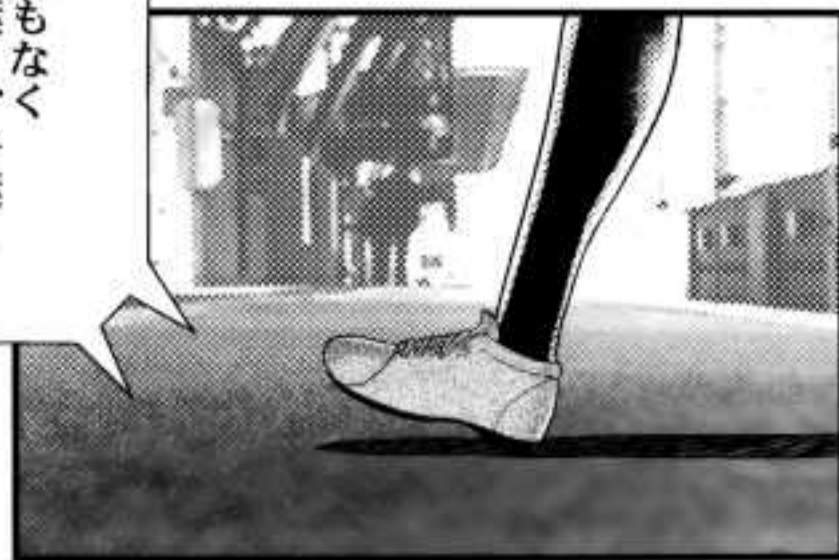
この誓いの象徴も



上辺だけの塊でしかない



まもなく
千葉ー、千葉ー



だからあたしは戻ることにした
10年も絶縁していたあの家に

兄貴と会うために
あたしの気持ちを確かめるために





あの止まっていた時間を

もう一度動かすために



意外と遠いね





いいアパートじゃない
兄貴のことちよっと見直したあ

結婚後も
実家に住み続けると
思ってたのにな
いろいろと大変なん
でしょう？

言ってること
おかしくねえか？



家賃すら払えないと
思ってるからよ

地味子が
アルバイトしないと
維持できない
くらいとか？
子供も産めないとか

いろんな意味で
俺に謝るべきだろ、お前は

ちゃんと義姉とか言え



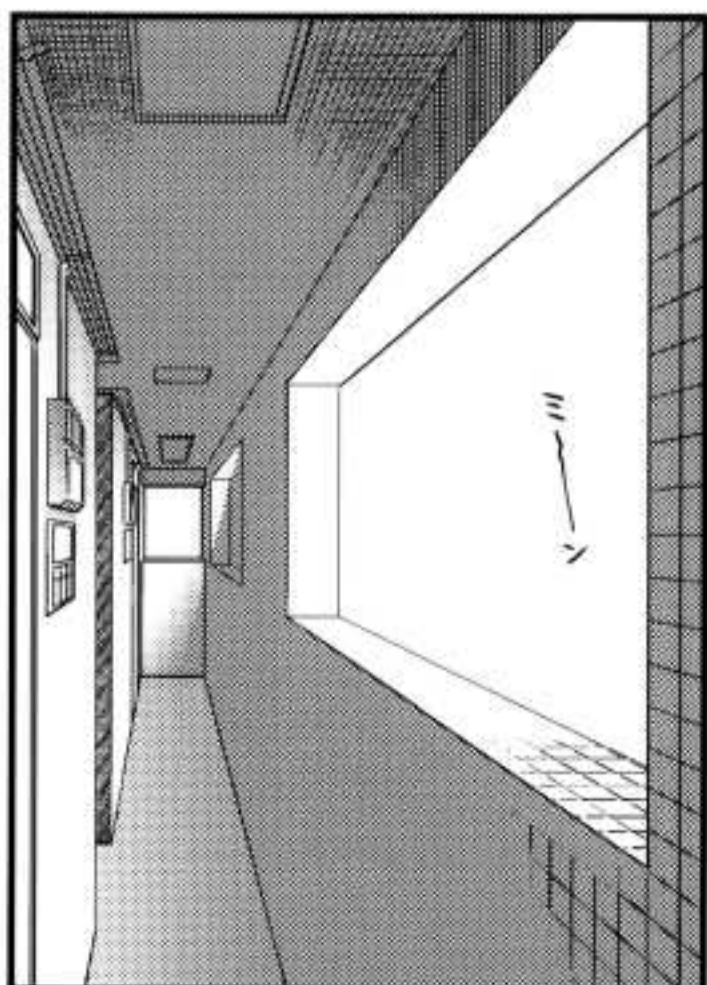
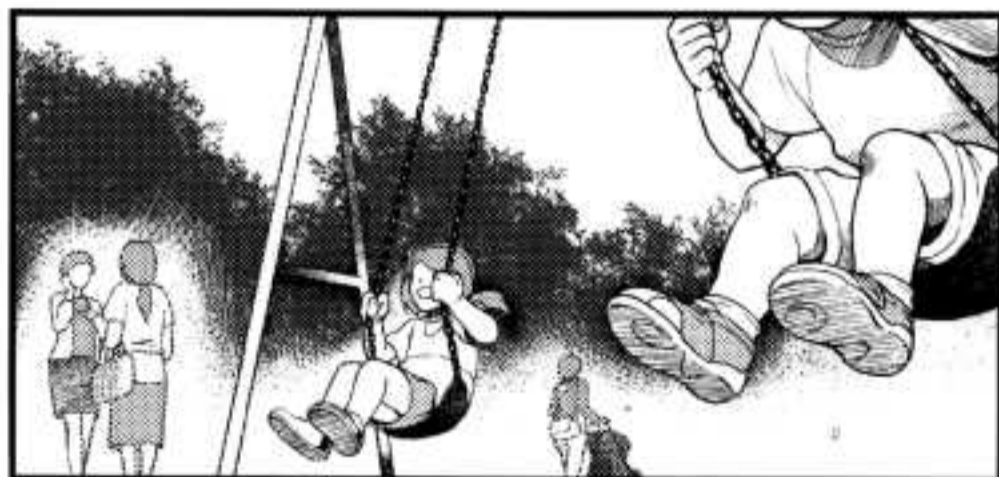
なるほど
いいこと聞いちゃった

田村屋

麻奈実がアルバイト
しているのは本当のこと
だがな

と言っても今日みたい
に実家を手伝ってるくらいだ
晩ご飯までに帰るよ



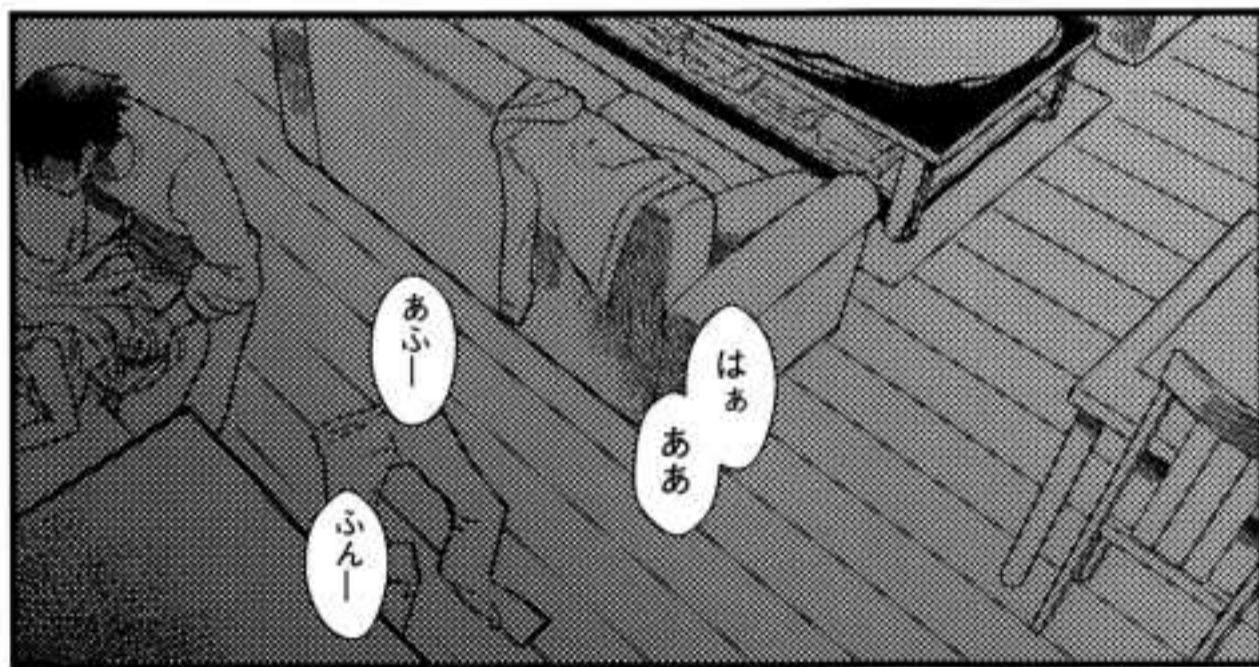




ありがとうございます
ございました



…京介の晩ご飯
何にしようかな？



あふー

はあ

ああ

ふんー



いいーんふ

すこー

パン
パン
パン

んはあ
いはい

ああ

まったく：
ちやんと服を
脱いでから
しようよ

スカートに
皺がついてたら
気づかれちゃう

はあー
はあー

時間が無いって
迫って来たのは
桐乃だろ
ぐいぐい押し付け
やがって

くろろ

言ってること
全く違うじゃねえか
ここは

ちゅん

ゆさ

ペニスが全部
吸込まれそう…

実は俺より期待
してるんだろ？

ズズッ

ズズッ

そうじゃな

ふい
ふい
ふい

あああ

前戯してないのに
濡れまくってるな…

はあー
はあー

やだ…股が
ちゅん

ちゅん

あー

お前の夫と
比べてたんだな？

いいああああ

じゃ誰のが
一番いいって
言ってみろ？

このセリフは
ずっと言っ
てみたかっ
たな

男は誰でも
負け嫌いだ
ね他の男と
比べられたら

兄貴はまるで
怒ったよう
で

まったく、俺の妹はいつの間にか
こんな淫乱になった！

動きが乱暴になるし
肉棒も大きくなって

膣口が広げ
られてるのが
感じられる
子宮口も圧迫
されてて

ソクッと
微電流が背筋から
脳天に走る

びいー
こんなのー

ビクッ

桐乃！イクぞ！

中を出すぞ！

はあああ♡♡♡

兄貴の肉棒は
あたしの膣内で
ピクツと痙攣して

子宮口がこじ
あけられたよう
に熱く膣奥に
強く噴き上がる

はあ♡♡♡
はあ♡♡♡
はあ♡♡♡

はあ♡♡♡
はあ♡♡♡
はあ♡♡♡

頭に残るのは
耳元に当たる
兄貴の荒い吐息と

終わりのないよう
注ぐ白い子種

ポタン♡

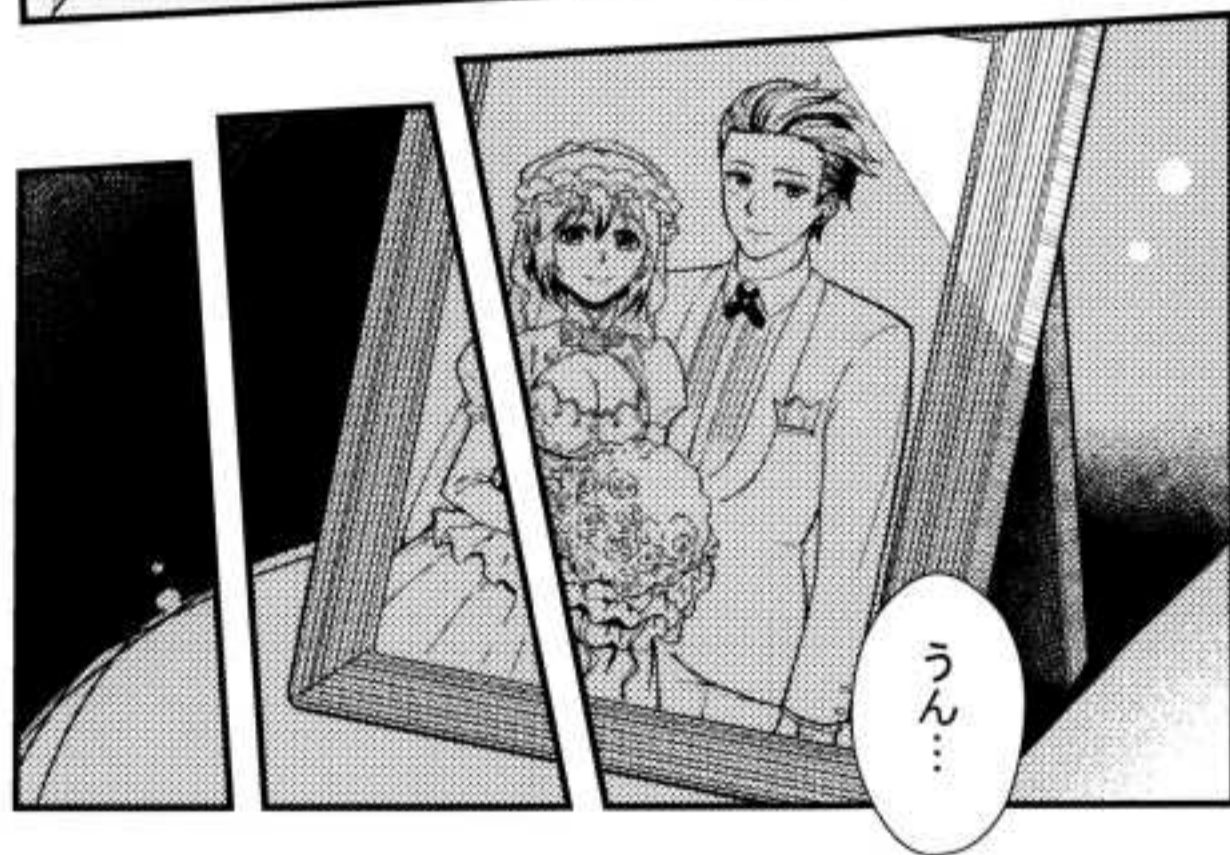
ポタン♡



地味子にあげ
なかつた分は

あたしが頂くわ♡

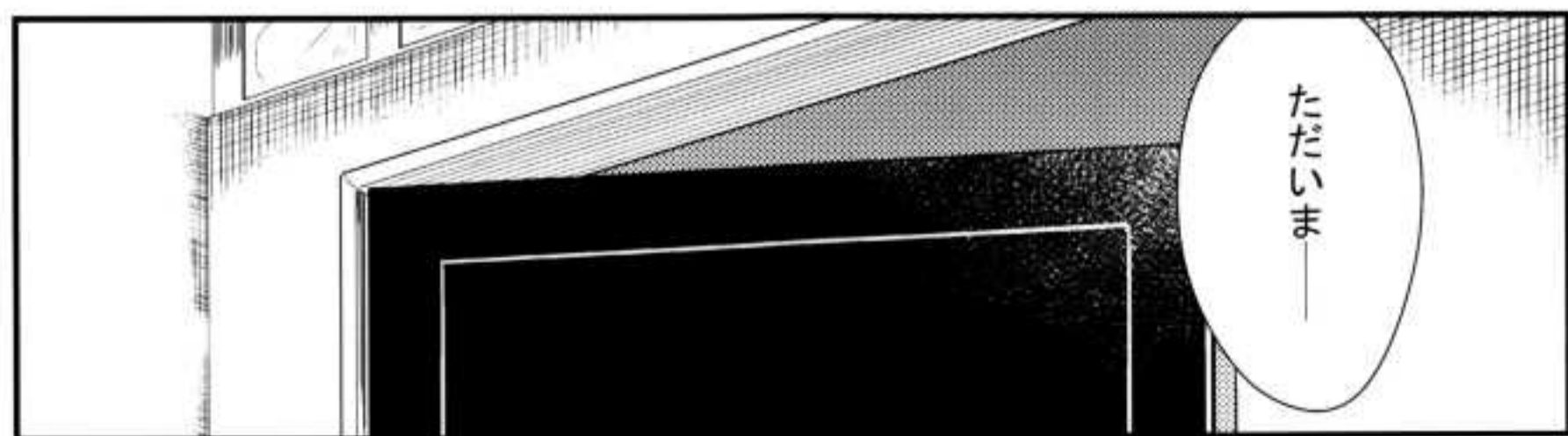
はあむ♡



うん…



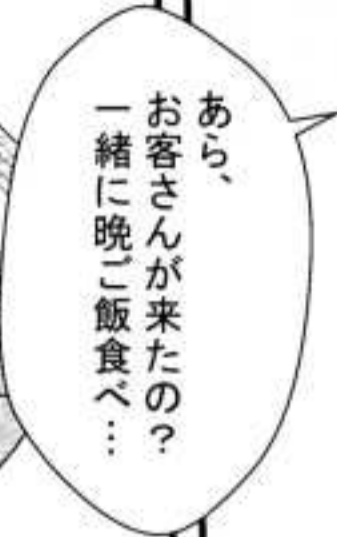
次は寝室でしよう？



ただいま



おかえり



あら、
お客さんが来たの？
一緒に晩ご飯食べ！



ハイ

久しぶりだね



気づいてないよ？



お姉さん

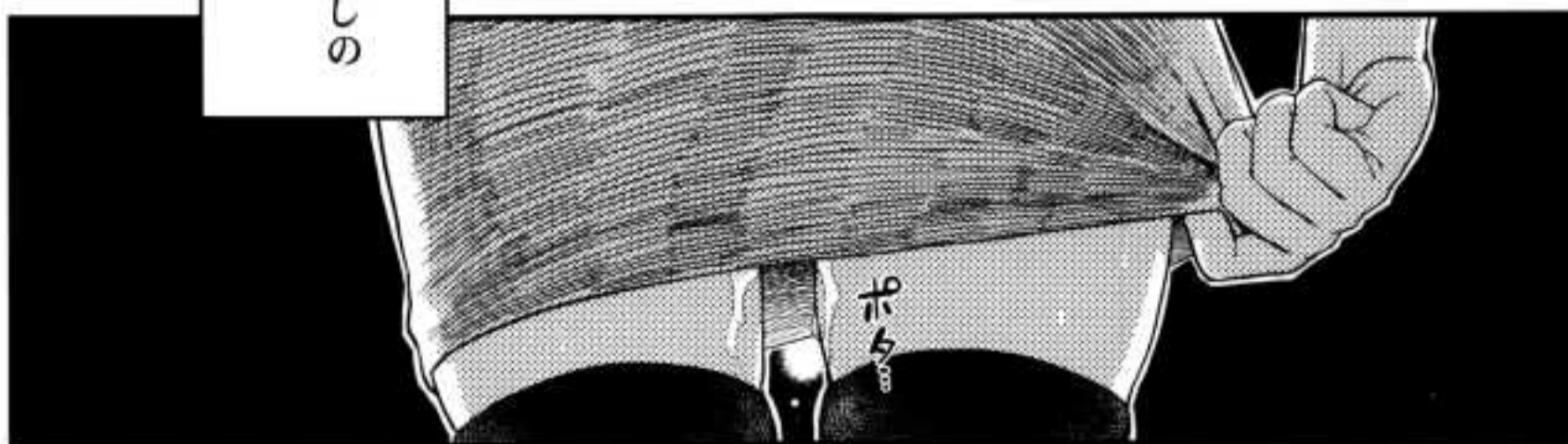
もっ



桐乃

部屋に満ちたい
いやらしい匂い

これはあたしの
宣戦布告よ



桐乃



あの日
家に帰ったら

久しぶりに桐乃が
玄関に立っていた

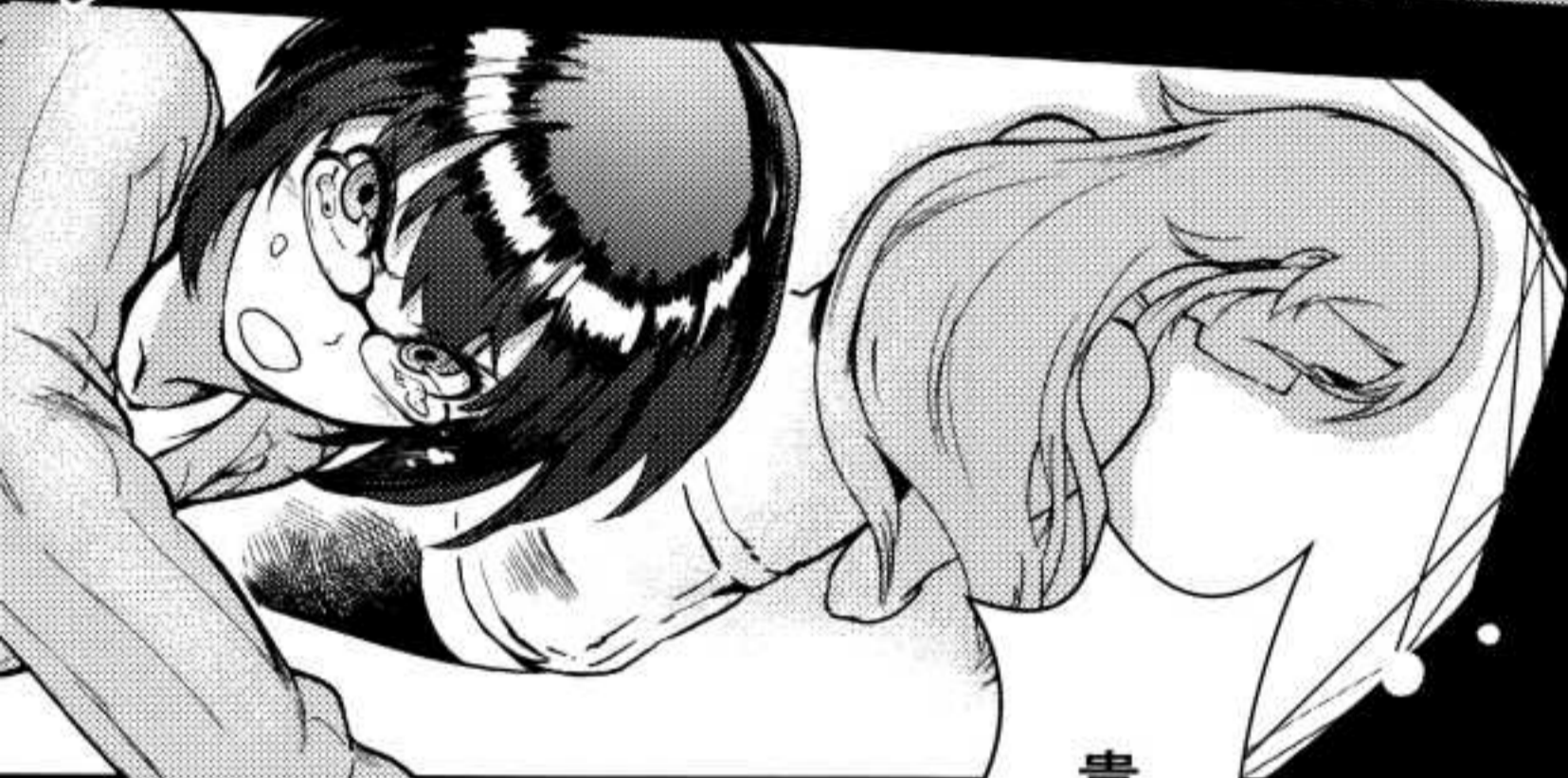
勝利者の
顔で出迎え
していた

わかっている

きょうちゃん
との関係も
ちうとも隠さない

麻奈実？

もう
十分だ…



貴方たちが







それから
何もせずに
逃げ出したの？



ん…

この十年間
あなたは胸のサイズ
だけではなく
頭の中も変わったね



五更瑠璃
現役ラノベ作家

この私に
相談しに来るのを
忘れないのは

光栄だとは思うけど

カラ…

この十年間、一体
何があったのかを
先に説明して
もらえないかしら？

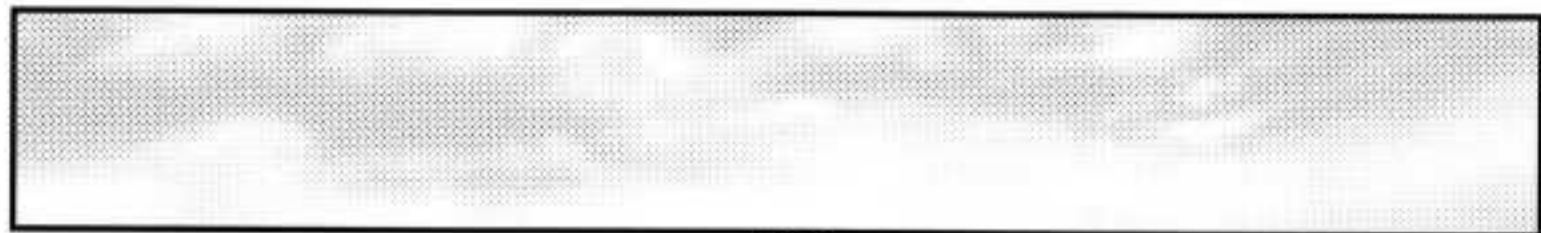




それとも

あなたが
結婚する前に
なにがあったのか？

…何にもないよ



なるほど…

サ…

…確かに
私に言う
必要はないわ

ただ

だけど、これは
あの時の留学とは
どこが違うの？

今回はあなたを
連れて帰るお兄さんが
居ないだけ？

そうよね

いつも自分から
京介を拒否して
後で人を責めるわね…



本気なの？

あなた…

なによ…？

あなたにとって
何にもイイことない
じゃない？

さっ
ぱり

そうだ

あなたも
似たようなことを
しただらう？

基本的には
一緒さ

いいよ



あなたと兄貴が
別れた時は

どんな気持ちだった？



最近
きょうちゃんが
家にいる時間は
短くなった



仕事のせいって
言ったけど…



知ってるわ
あの日から



時々
きょうちゃんから

桐乃の香水の
匂いがした





いいえ…

この家は…

もう彼らの
淫行の跡で
いっぱい…



トイレも…



台所も…



いやらしい匂いが
満ちている

このわたしと
きょうちゃん
だけのはずの空間も

それと…



彼女のあざ笑いが
見えるような
気がする



わたし…





ええ？

きょうちゃんはまだ残業中のはず…

この時間一体誰が？

…桐乃ちゃん？



こんばんはお姉さん
宣戦布告をしに来たよ♥

でもその前に



まず一杯
飲もうか！



え？

この前はよく
見てなかったけど…
桐乃は綺麗に
なったな…

元々可愛い顔
してるけど
今は違う人の
ように艶やか



十年もすると人は
こんな
変わるのかな？

あの…
桐乃ちゃん…



美味しい…



あなたはまた

きょうちゃん
のこと…

いえ…
自分の兄さんを
手放さないの？

それとも

これはわたしへの
復讐？

…なんで
そう思うの？

だって…
あなたはずっと
わたしのことが
嫌いだった…

なのにわたしは
あなたの大好きな
兄さんと結婚した…

勘違いしないでね

兄貴の選択と
あたしの好き嫌いは
関係ないわ



兄貴とあなたの結婚はどう見ても

一番いい選択だし

みんなに期待されてるのよ

兄貴もあなたの側にいる時は一番気持ちよくて自由自在だと思う

いくらあたしがあなたを嫌いでも

これは見過ごせない

だから兄貴をあなたから奪うことはないよ

ニヤ...

でも

ガラッ

え？

目が回ってる...

体が... 熱い...

キ...リノ

何を... 飲ませたの...

う...

泥棒猫に取られたのは嫌なのよ

だから決めたの！
あなたの体に何かを残してあげる♥



あの二人が
会ったら…



頼む！
何も無いように
してくれ！



いい匂い
だろう？

この匂いは
リラックス効果が
あって

体の感度を
高めるわよ

あ！あなたが
さっき飲んだ薬も
同じ効果があるのよ

この洋服
とても似合うわよ
いつも
隠されてる部分も
大胆に見せて…

い…
嫌だ…

恥ずかしい…

ちょっと
嫉妬しちゃうわ…

ここも同じ
綺麗なのかな？

色もとっても綺麗…
麻奈美さんの肌は
きめ細かいね…

呼吸が…
くすぐりたい…
体が熱い…

兄貴はあなたのことを
大事にしてるね…

何を言ってるの？

ああ♡

うっ！

ぐっ
ぶっ♡



だめ…

桐乃に
そんな
触られると…

ちゅぽ

体の全体が…
性感帯に
なったみたい…

快感が全身に
しびれる…

ぐり
ぐり



気持ちいいでしょ？

我慢しなくて
いいのよ

女性を気持ちよく
させる方法に詳しいよ



ちゅぽ

ちゅる

んあ



ほら見て
これは証拠

ここからも
いやらしい匂いが
出てきたよ

いや…
そこはダメ！

あ…
舌が…

神経が
下腹部に集まって
来た感じが…

んは♡

認めたく
ないけど…

えへへ

クリトリスが
立ってるよ♡

ガッ

!!!

気持ち
いい…

何か…
何か来る
感じが…

いああ!?

イ…

イク!!

イッ
イッ
イッ



これはあたしのお気に入りの



片方はあたしのおマンコに既に入ってるのよ

じゃあ



な...
なによこれ...

ぬる♡

つまり
これであなただを犯したら
あたしも感じるわ♡



ハァ

ん...?

綺麗に吹いたね
麻奈実さん

でも、まだ休んじや
イケないよ



トロ



ズッ



ズッ



よいしょー

今すぐ挿れて
あげるからね♡

ダメ...
大きい...

ダメ...



うああ!!



んん





痛いよ...

嫌だ...

い...

何か言いたい
のかな？

ん？



お願い...
桐乃ちゃん...

早く...
抜いて...

大きいすぎて

痛いよ



これは兄貴のと
同じサイズだよ

あなたは一番
詳しいはずだよ？



...何を
言ってるの？





ケツ穴も
綺麗に見える

いい眺めだね

とってもいい
色だよ♡

あす

あすあす

ぐちゃ

ぐちゃ

パン



アイ!?

グッグッ♡

まだ開発されて
いないこの穴

あたしが
頂こうか♡

え?



麻奈実はイイ
声出したよ!!

このように
お尻の中を
掻き混ぜれば

おマンコが
超キツくなる♡

中が...
おかしい!!

頭が
ゴチャゴチャ...

うずうずうず!!

またこのように
一気に抜き
出したら...

おマンコが
めちやくちや
痙攣するわ♡



今の麻奈実さんは
とってもかわいいよ

変態で淫乱

兄貴にこんな
表情を見せた
ことがある?



いい知らせだよ

兄貴は今家に
帰る途中なの

もうそろそろ
着く頃だよ

もう外に
居るかもね

さあ
最後の仕上げだ
お姉さん♡



あら…

シーツを
変えなくちゃ

キリッ

でも
ちょうど良かった
来たのねー

キ…リノ

麻奈実…



な…
兄貴が呼んでるよ
挨拶しようよ!

今のこの
表情でね♥



いつまで
つつ立ってるつもり？

もう準備できたよ

京介——



おい…
その君…

びしょ濡れじゃん
風邪引いちゃうよ

行くところが
なかったら
俺んちに来ない？

うわー
ラッキー！

空いてる
部屋があるよ

超かわいい！

下心のある男とは
分かっていたんだ
けど

あの時のあたしは…

こら！
いい加減にしろ
発情期の猿みたい

薬を飲ませたとしても
中出しは止める！

次の人を
考えてよ

落ちていくことしか
できなかつた

あはは
あいつももうダメだ

えたと分かった時点で
腰が止まらなく
なっちまった

悪いな
お嬢ちゃん

彼氏たちの借金は
お嬢ちゃんが
なんとかしなくちゃねー

お詫びとして
儲かる仕事を
紹介するよ

心配ないさ
ゴミ男たちは
俺らが処分したよ



おおー
君がああ噂の
新人さんかい？

はい…

キリって
呼んでください

ん？君…
雑誌に出た
ことがある？

ひ…人違い
かも…



借金を返したら
君もここから
出ちゃうよな？

そうですね

そんなら
俺の愛人にならない？
金にも困らないし

いいじゃない

考えて
おきます

いい話だよ

好きなもの
何でも買えるよ

キリちゃんのおっぱいを
どうしても忘れられないな

あはは



結婚していると
分かっていて
何で彼に近づいたの？

君も彼の財産が
目当てだな？

いい加減に
しなさい!!!

この淫らな女！



桐乃…



こんな汚い
淫婦の親の顔が
見てみたいわ！



いつまで
立ってるつもり？

もう準備できたよ



京介…いえ、

兄貴











父さんの遺物から
見つけたの

母さんにも
確認したわ

母さんが何も
言わなかったのは

これ以上家族を
バラバラにしたくない
からかな…

何か言い間違った
ことがある？





あなた達は元々
一緒に居るべき
ではなかった！

当たり前でしょう？



わたしと
きょうちゃんも…
ずっと前から一緒に
歩いてきた…

桐乃ちゃんのように
きょうちゃんを
無視なんかは
できなかった

わたしずっと
きょうちゃんの
そばに居た！

ずっと…

ずっと一緒に
居たかった…



なのにきょうちゃんは
自分の妹を選んだ！

許されない関係を
止めるには
どこが間違った？



新垣ちゃんでもいい

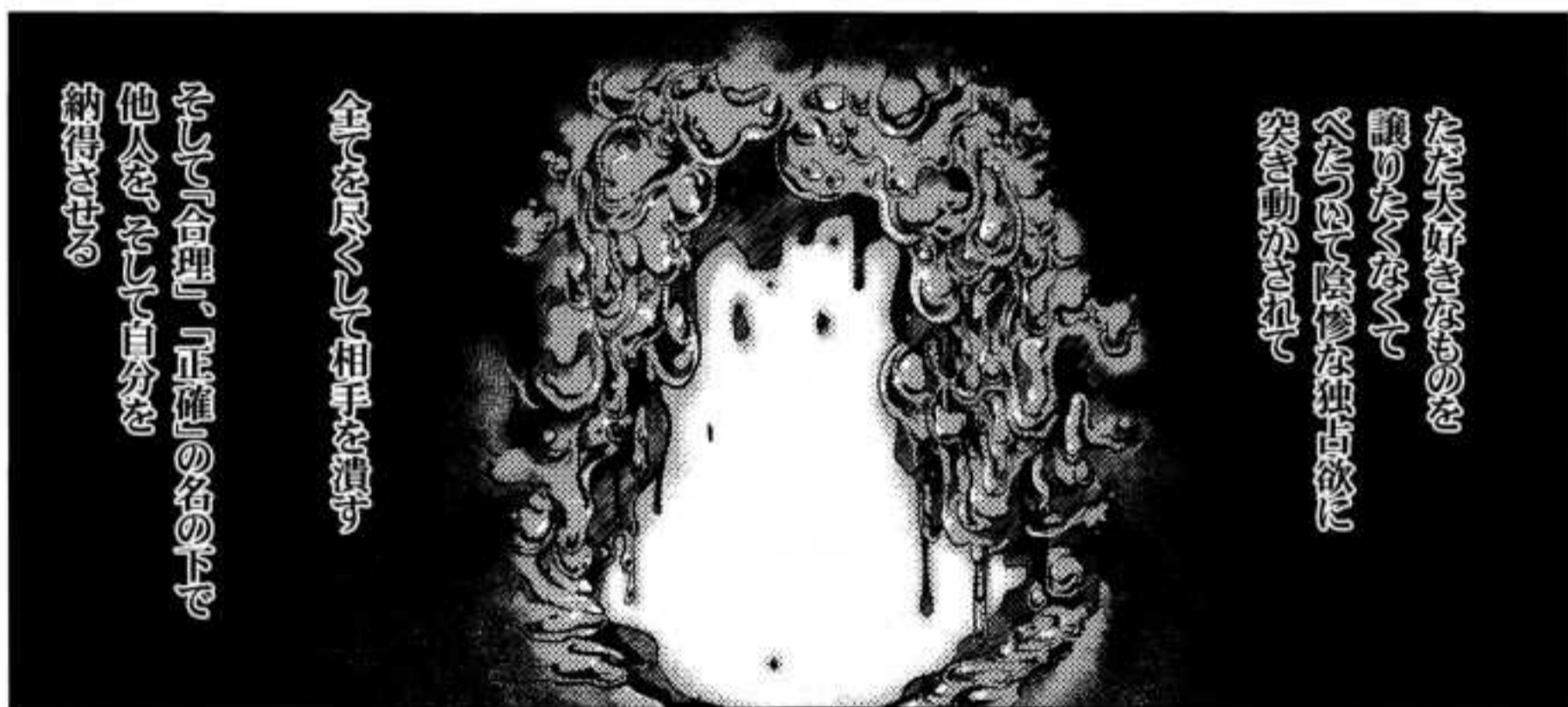
五更さんでもいい

なんで
桐乃ちゃん
なのよ…

何でなの…



これはただの詭弁…



ただ大好きなものを
譲りたくなくて
べたついて陰惨な独占欲だ
突き動かされて

全てを返くして相手を潰す

そして「合理」、「正確」の名の下で
他人を、そして自分を
納得させる



あたしと一緒にだ

そうだよ
あなたは…

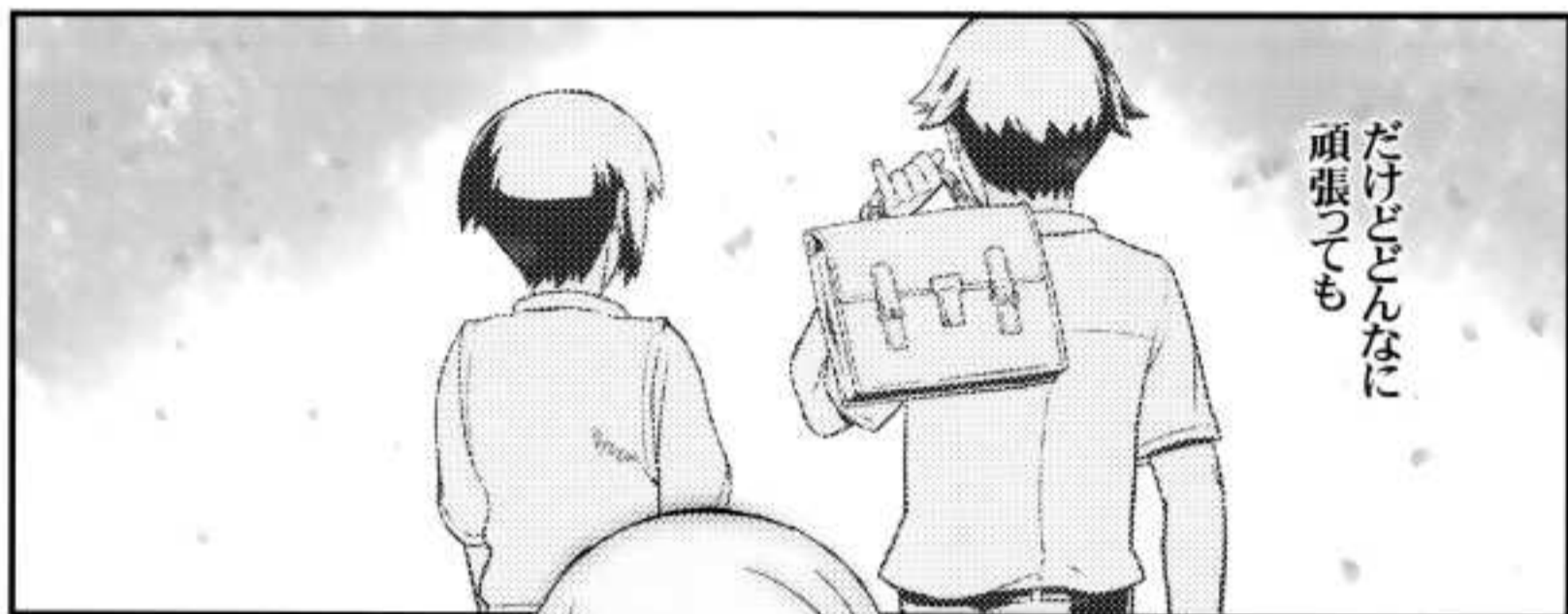


スッ



遠くから
見ているのだけは嫌

彼の側にいるのが
自分ではないのが嫌



だけどどんなに
頑張っても



祝福されない
この感情は

存在する意味が
ないかしら？

それでも…



あたしは…



別れる？



京介を取り戻すため
ではなかったの？

あなたはあんなに
尽くしてきたのに

理解できない



もう決めたよ

母さんと
旦那にも

全てを言うよ



あなたが
どう思うのかは
知らないけど

あたしは最初から
兄貴と地味子の関係を
ぶち壊すつもりはないわ

あたしが嫌なのは
みんなが何も
なかったような
態度だよ

コンフォートゾーンを
壊されたくないから

善意で嘘を包んで
相手への優しさで

自分の本当の
気持ちを無視する

特に京介はね
いつも相手を
配慮しすぎる
その優しさは
ダメなんだ



あたしは消える

二度とあなた達
の前に現れない



地味子への挑発も
同じ意味だ

ちよっと荒々しいけど
ないよりましだと思っ

本当の自分と
向き合ってから
自分は一体何を

望んでいるのかを
分かるかもしれない



見せかけだけ
幸せそうに繋がる関係

それぞれ違う罪悪感を
持ちながら



あたしの希望は…

このような方法で
彼らを無理やり
向かい合わせて

そして本当の
信頼関係を築く

傷口の消毒を
するつもり？

冗談じゃない



自意識過剰

そして不器用

でも…



ド派手に
やった後

自分だけ離れて
相手の幸せを
祈るなんて

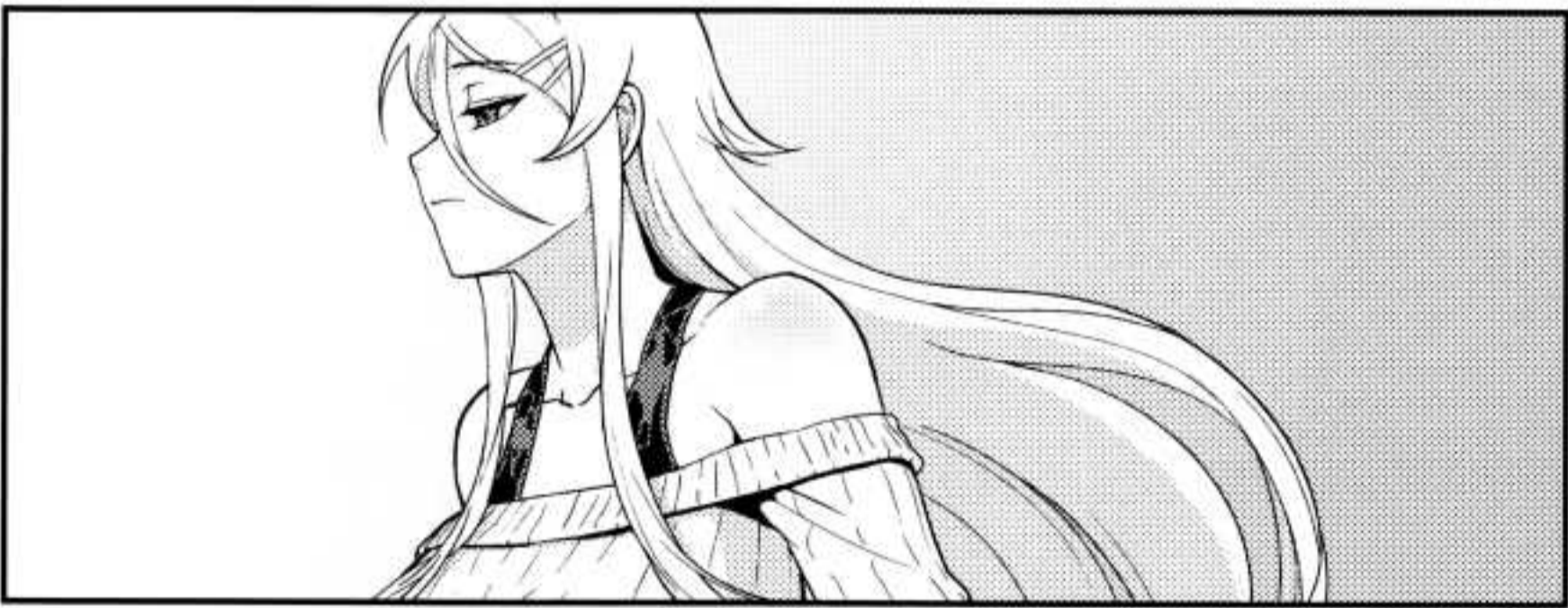
…

あの時の私と
比べないわ！

どんな茶番だ



知ってると思うけど
私はあなたが京介を
取り戻す事に
全力で支持できるん
だけ





もし…

今夜だけなら…



今夜だけ…



欲望の肉塊に
なっ…

焔へ飛び込む



動かないで

こうされるのは
気持ちいいよ

ドキ



桐乃…



ふあ…



ちゅぷ♡



こうやって吸って…

ガブッ♡

うん!!



ああ…



うむ…
はむ…

じゅわ

フゥ

ふん



兄貴が優しすぎるかな？
それとも
本気出してなかった？



う！
きょうちゃんの
こんなに大きい？



この前あたしが
言ったことを
気になってる？

ちよっと
意地悪して
ごめんね

そこは兄貴
自身の問題
だと思っよ

兄貴はちよっと
乱暴なやり方が
好きだけど

優しくするのは
あなたを
失いたくないから



わかった？

今のあなたは
優しい妻
ではなく

肉欲に従って

ただ快楽を求め
メスになるよ



すっぴい…

パンパンに張ってる亀頭が光ってる

麻奈実…

麻奈実がいるから？

兄貴のペニスはいつてもより熱い…

ちよっと嫉妬しちゃった



きょうちゃんのものなの…

いつもより辛い…

麻奈実…

桐乃…

ピクピクしてる

そろそろイツちゃう？



うん！

ふはあ!!

「めん！」

やべー
そこ吸われたらー

麻奈実の

ロニー…



ゲホツ

ゴホツ

きょうちゃんのが…
いっばい…

あは♡





…桐乃？

いきなり後ろから
挿れられたら…
あたし…

ズズズ
グググ
ういい!?!
いきなりー



我慢できなくなっちゃう!!

はあー
ああー

ああー!!

ああー

アホー



桐乃ー

桐乃!!

ぽんっ
ぽんっ
ぽんっ

お前めちやくちや
濡れてる…

おマンコずっと
吸い付けてくる!

ぽんっ
ぽんっ

いい♡

一気に奥まで
突っ込んできて

いつもより
強烈…♡

兄貴いめめめ♡



後ろからズンズンと
突いてきた快感

ちゅっ♡
ちゅっ♡

あ♡

うんい♡

ああ♡

快感が電流のように
全身に走る…

…コンコンと
ノックされてる♡

ペニスが挿れるたび

脊椎が引つ張られて
そしてくっつかれる

下腹部への衝撃で
意識を失っていく

ぬちゅっ
ズッ
ズッ

ぽんっ♡
ズッ
ズッ



…わたしも
きょうちゃんの
あれで…

あんなように
挿れられたら…

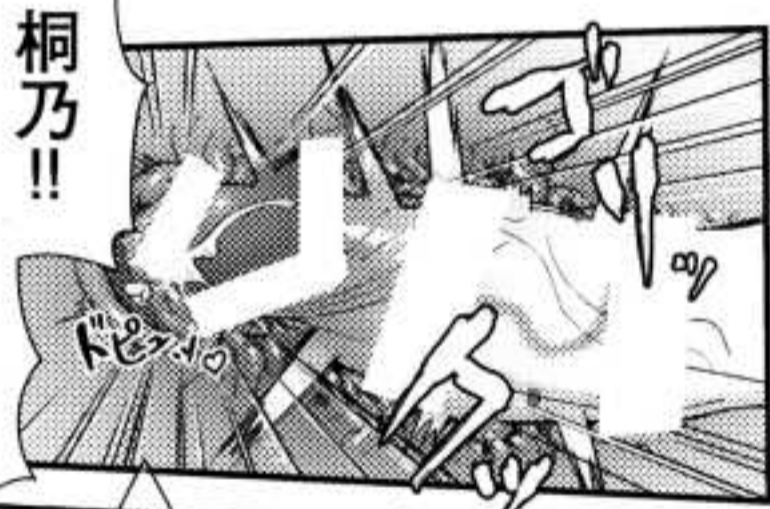


すごい…桐乃の
綺麗な顔がこんなに
乱れて…

きょうちゃんの
あそこもいつもと
違うように見える…



どんな表情に
なるかな…



桐乃!!

で…でるぞ!!

いや!?

こんな奥でー



あは♡

全部入っちゃったー

イクイク!!!



あんなのを見たら

きょうちゃんの
あそび...

ドキ
ドミ

おちんちんを...

頭がおかしくなるよー

挿れて...

かき混ぜて

めちやくちゃんにして♥



ドク...

フキゅ

今は...



また大きくなった...
桐乃とやった
ばっかりなのに...

麻奈実...

いつもと違う
サイズのおちんちん



挿

ういひいひ!?

フル♡

!?

子宮がグイグイ
押されるのは
初めて?

こんなに
膨らんでる

ああ♡

これは兄貴の
本気だよ

が♡ちゅ

ああ♡

い、いや!
押さないで!

ホ♡ホ♡







まよっちゃんさんの精液ー

いやあああ

精液が入っちゃった

はああああ

ドモモモ

ドモモモ



お腹が…
熱い…

思考できない…

気持ち
よすぎて…

ドモモモ



いい表情だね
このような

失神する感じは
久しぶり？

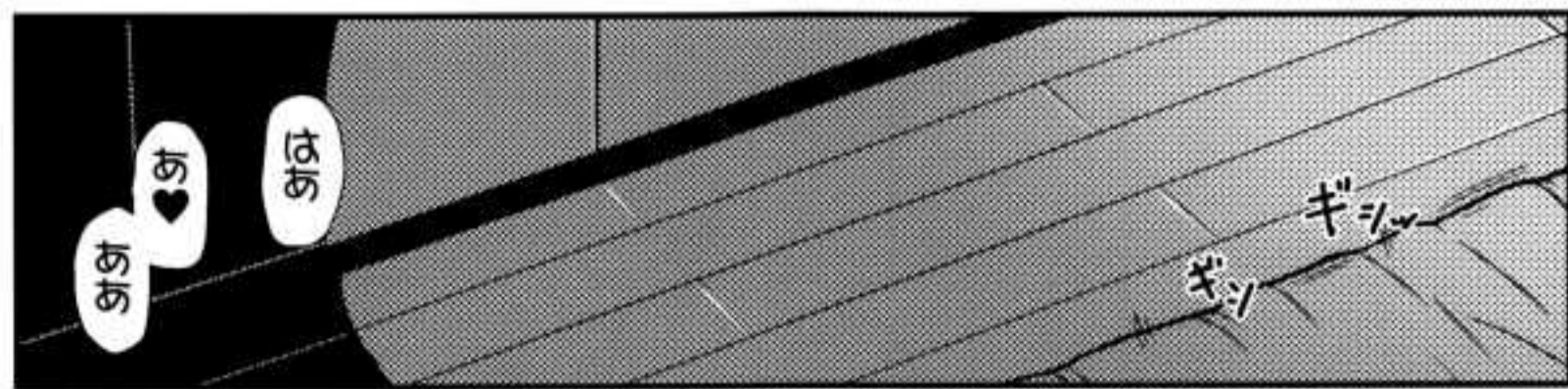
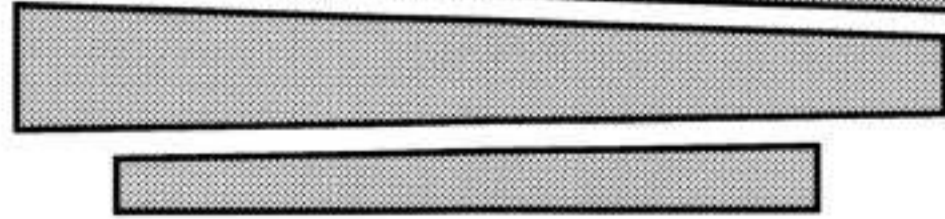
見られるのが
好きみたいだね

ハアー

ハア

ハア

ドモモモ





すっぴんよー

麻奈実のおマンコは
いつもよりキツイー

ああ
こんな姿勢…

恥ずかしいー

キスして…
きょうちゃん…

きょうちゃんに
そんなに舐められたら…

桐乃のように
天きくないよ…

この甘いのは
桐乃の母乳かな？

そんな馬鹿なー
あああー♥

射精しながら突くなー

この馬鹿兄貴ー♥

トホッ
ゴホッ



ああー♡

お尻の穴も
兄貴のザーメンで
いっぱいにして！

お尻がきょうちゃんの
おちんちんで広げられた…

まだまだ
いっぱい入ってる…

兄貴の量は
やばくない？

ああー
精液が直腸に
入っちゃって
おかしいよ…

あは♡
まだビシピンしてる…

谷間はもうザーメンの
池になっただのに♡

全ての穴が
いっぱいになっ
ったようだな

最後の一発を
ぶっかけようか！！

桐乃ちゃんが
居ないとできないこと…

胸が熱いよ…

ばら撒かれた
白い子種とともに

肉体の喜びは
限界に達した

快感の余韻に
溺れて

夜がもうすぐ
明ける

恍惚の中で
薄く見えたのは

ハア——♡

ハア——♡

ハア——♡

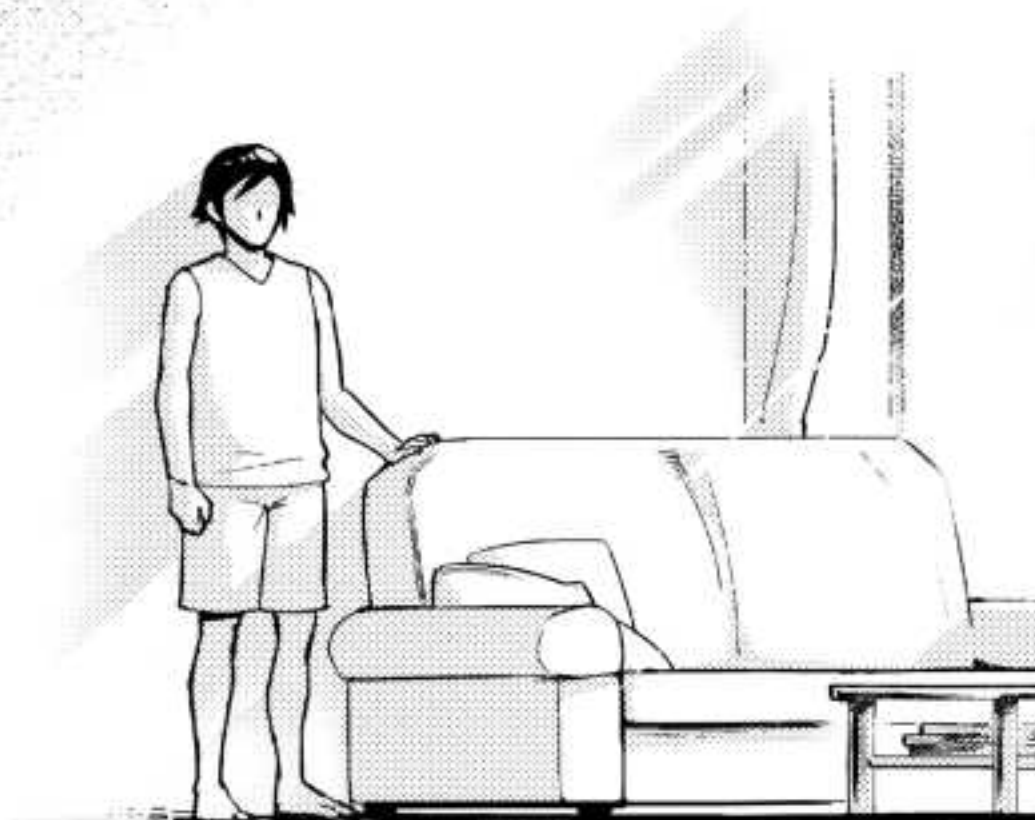
ハア——♡

ずっと心の中
大事にして
おいた

あの夢の景色










翌日、
桐乃が消えた

彼女の香りしか
残されなかった

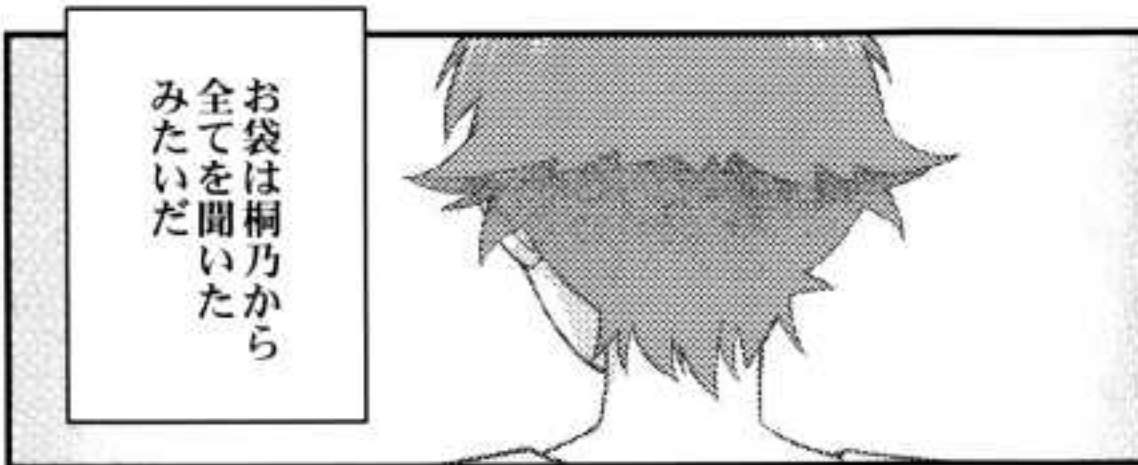


もう二度と姿を
現さないという
現実を知った



それから
俺は実家へ
戻って

桐乃のように
お袋に全てを
言い出そうと
したけど



お袋は桐乃から
全てを聞いた
みたいだ

好きにしろうー

あんた達を
産まなかったことに
するわ

冷たい声で
そう言われた

俺は終始
お袋の顔を見る
勇気が出なかった

そして
お袋から聞いた

桐乃は旦那さんにも
打ち明けたようだ



相手の反応と続きは
わからないけど

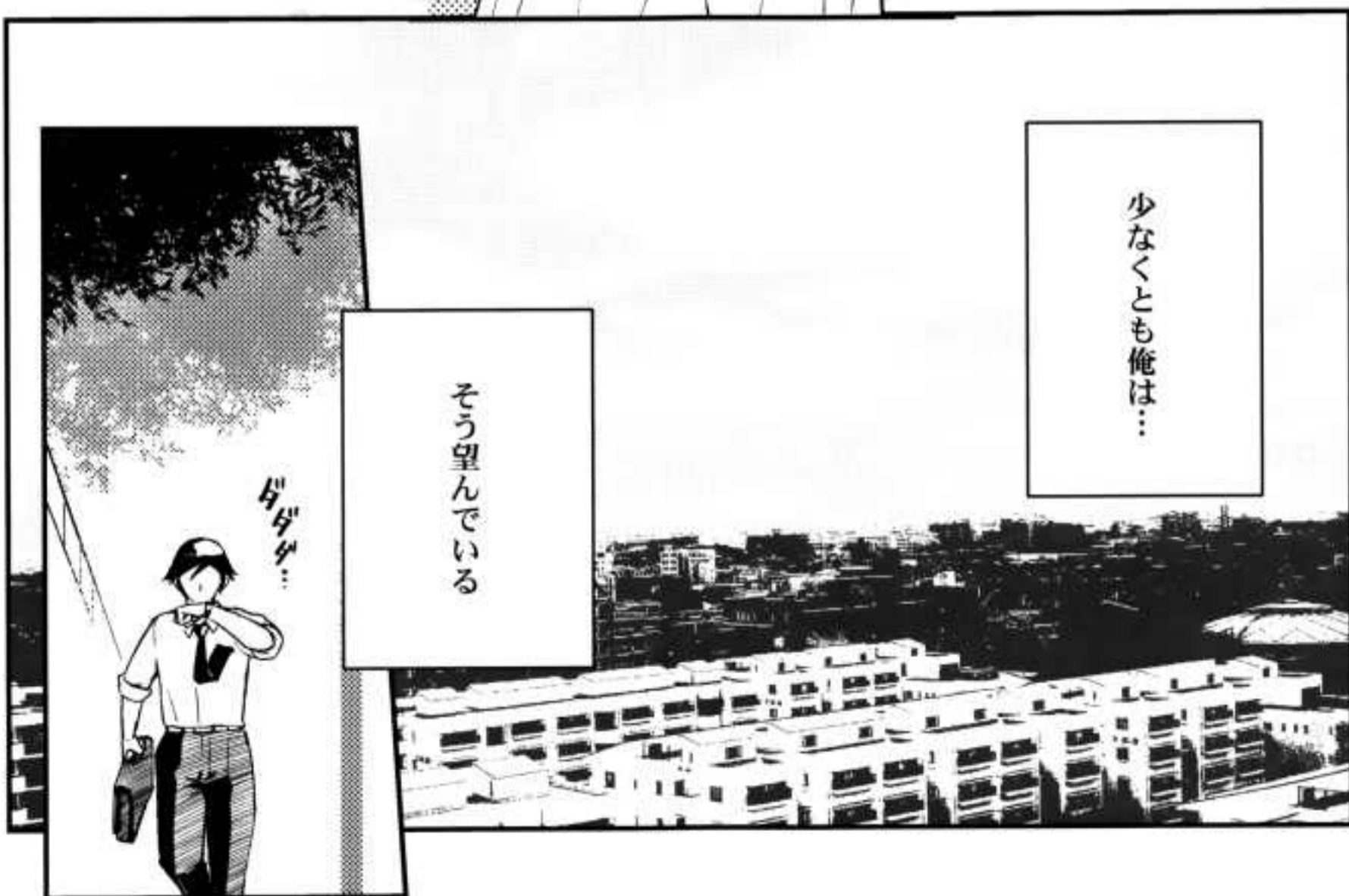
離婚を決めたようだ

嵐のような

彼女は心の中に
秘めていた
疑いと疚しさを
一気に片付けた

傷口を消毒する
ように

かみゆき







よかった…

ザ…

ちい
ちい

Aaa.



お前のために…

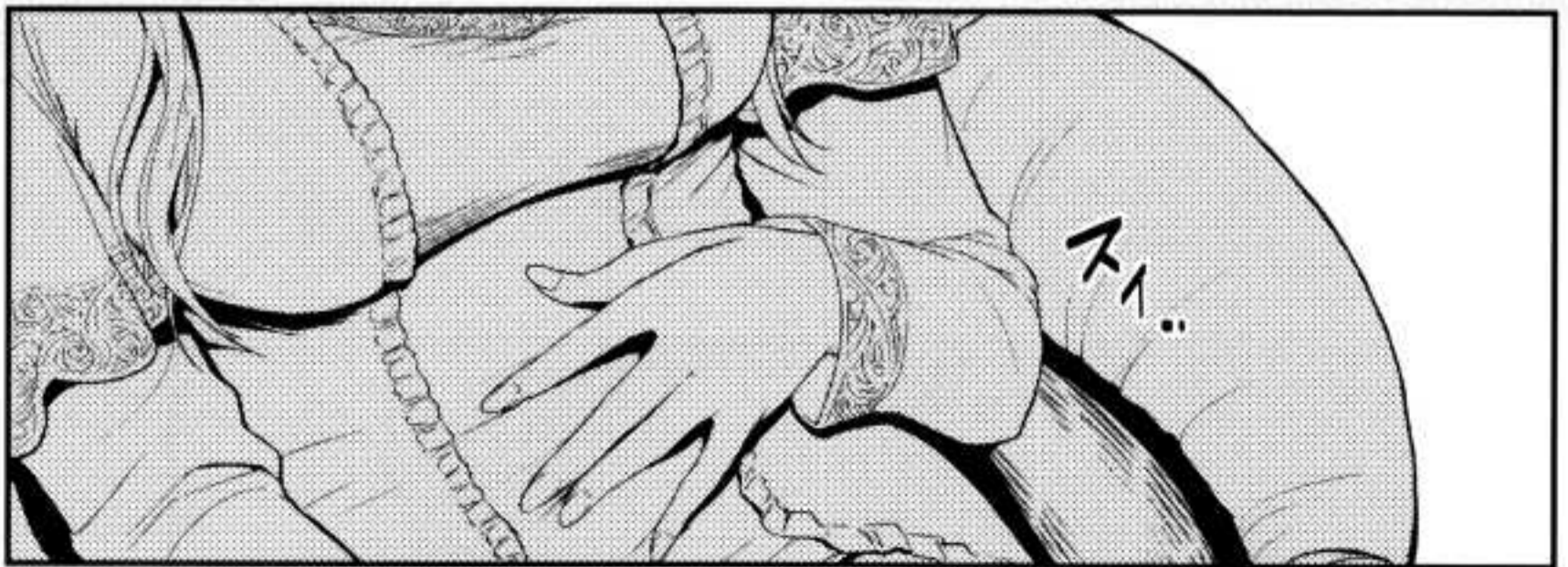
怒ってくれる
もう一人の男が
いたんだ…



ね？



ん…





■おわり■

■高坂桐乃

まったく…こんなにキスして…
ホテルに入るまで待たないの？

ふん…
兄貴の上も下も待ち切れないみたい♡





あぁ♥
こんな格好で見られたら...

気持ちいい...

♡♡♡♡♡

■五更瑠璃

本当にいやらしいおちんちんね…

奥さんが帰る前に
お回で絞り出させようか♡

嫌だ
お洋服に付いちゃった…



おもちゃのように挿れられて……

子宮に刻印を残された……
この体はもうあなたから離れないわ……



■新垣あやせ



そっ…あそっよ…

ちやんと舐めなさい
お兄さん♥

どうせ私も桐乃の代替品だろう…

■ 横島沙織

やっと拙者を見てくれましたね
京介氏…

拙者の体で思う存分に甘えてください♥

心配しないで
主人に言いませんから…

PRESENT BY
華容道

DEC 2015

十年
後
の
人
生
相
談

DOJIN
R18
成人向け
15歳未満の
購入・閲覧禁止

FAN BOOK

PRESENT BY
華容道
DEC 2015